

(参考1) ICTを活用した教育活動に関するアンケート調査

(1) ICTを活用した教育活動に関するアンケート調査票

- 沖縄県内各教育委員会対象調査票「ICTを活用した教育活動に関する調査」
- 高校のない離島を有する沖縄県内の市町村長対象調査票「ICTを活用した高等学校の設立意向に関する調査」

ICT を活用した教育活動に関する調査

貴教育委員会における ICT を活用した教育活動の内容についての御回答を御記載いただきますようお願いいたします。御回答にあたっては、各教育委員会において所管される学校に関する情報に基づいて御回答ください。※学校の負担軽減の観点から、教育委員会から各学校に対して照会いただくことは想定しておりません。

アンケート回答者の連絡先を御記載ください。

自治体名	県市町村教育委員会	所属	
氏名		役職	
電話番号		メール アドレス	

Q1. 貴教育委員会の所管する以下の学校数を御回答ください。

小学校	校
中学校	校
高等学校	校

以下の部分について御回答をお願いいたします。

○市町村教育委員会

- ・【Ⅰ】貴教育委員会の所管する小中学校について(Q2. ～Q13.)p. 2～5
- ・【Ⅲ】ICT 支援員について(Q26. ～Q35.)p. 10～12

○県教育委員会

- ・【Ⅰ】貴教育委員会の所管する小中学校について(Q2. ～Q13.)p. 2～5
- ・【Ⅱ】貴教育委員会の所管する高等学校について(Q14. ～Q25.)p. 6～9
- ・【Ⅲ】ICT 支援員について(Q26. ～Q35.)p. 10～12

【 I 】貴教育委員会の所管する小中学校について(Q2. ～Q13.)

ICT を活用した教育活動(Q3.の選択肢の内容を参照)の実施状況についてお伺いします。

令和 2 年 10 月 1 日時点の状況を御回答ください。

《市町村教育委員会・県教育委員会対象》

Q2. 貴教育委員会の所管する小中学校の中で、ICT を活用した教育活動を実施している学校はありますか。

1 つだけ選んでください。

1. ある → Q3. へお進みください。
2. ない → Q10. へお進みください。

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q3. 貴教育委員会が所管する小中学校で実施している、ICT を活用した教育活動の内容を教えてください。(複数選択可)

1. 児童生徒が自宅から、ネットワークを介して配信された授業内容を視聴
2. 児童生徒の自宅と学校とを接続し、同時双方向による授業を実施
3. 教室内での電子黒板の使用
4. 教室内で児童生徒がタブレット端末等を使用
5. 他の学校や学校外の機関(博物館、美術館など)と学校とを接続した、同時双方向による授業を実施
6. その他()
7. わからない

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q4. Q3. で御回答された教育活動について、どのような授業や教科等で活用されているのか教えてください。(複数選択可)

1. 主に一斉授業形式を中心とする授業・教科等(国語、社会等)
2. 主に実技を中心とする授業・教科等(体育、音楽等)
3. 外国語活動(英語)における会話の授業
4. その他()
5. わからない

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q5. 貴教育委員会が所管する小中学校で ICT を活用した教育活動を実施した理由(きっかけ)を教えてください。(複数選択可)

1. 児童生徒が校外の多様な人と交流することができるから
2. 児童生徒の学習意欲の向上が期待できるから
3. 児童生徒それぞれの理解度・習熟度に合わせた学習ができるから
4. ICT 機器を使いこなすことは、世の中の必須スキルになっていくと思うから
5. 教員の指導力向上が期待できるから
6. 新型コロナウイルス感染症への対応のため
7. その他()

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q6. ICT を活用した教育活動を実施して得られた成果を教えてください。(複数選択可)

1. 児童生徒が多様な人と交流することができた
2. 児童生徒に学習意欲の向上が見られた
3. 児童生徒それぞれの理解度・習熟度に合わせた学習ができた
4. 教員の指導力が向上できた
5. 教員の業務が効率化できた
6. 新型コロナウイルス感染症への対応や対策ができた
7. その他()

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q7. ICT を活用した教育活動の実施に伴う課題や問題点を教えてください。(複数選択可)

1. 回線の通信速度が遅い
2. 音や映像が途切れる
3. ICT 機器のセッティングに時間がかかる
4. 授業の進行に遅れが生じた
5. 授業内容が ICT の活用に適した内容ではなかった
6. 普段よりも授業の準備に時間がかかるなど、教員の負担が増加した
7. その他()

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q8. 授業以外で ICT を活用した教育活動として実際に活動をされたことがあれば、簡単に御紹介ください。(自由記述)

()

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q9. どのような条件や環境を整えば、ICT を活用した教育活動を強化できると思いますか。次の選択肢から選んでください。(複数選択可)

1. ICT 機器(端末)の整備
2. ネットワーク環境(Wi-Fi 等)の整備
3. 教員向けのサポートプログラムの提供
4. ICT に関してサポートができる人材の確保
5. 提携・協力先リストの整備
6. ICT を活用した教育活動の効果が明らかになること
7. ICT を活用した教職員向けの研修の実施が可能となること
8. その他()

—————▶ Q13. へお進みください。

《Q2. で「2. 」と回答した方対象》

Q10. 今後、ICT を活用した教育活動を実施する予定はありますか。次の選択肢から 1 つだけ選んでください。

- | | | |
|----------|---|----------------|
| 1. 予定はある | → | Q11. へお進みください。 |
| 2. 予定はない | } | Q12. へお進みください。 |
| 3. わからない | | |

《Q10. で「1. 」と回答した方対象》

Q11. ICT を活用した教育活動の実施は、いつ頃を予定していますか。次の選択肢から 1 つだけ選んでください。

1. 令和 2 年度中
2. 令和 3 年度中
3. その他()

—————▶ Q13. へお進みください。

《Q10. で「2. 」または「3. 」と回答した方対象》

Q12. 「Q10. 」の御回答の理由を教えてください。(複数選択可)

1. ICT 機器(端末)の整備が困難だから
2. ネットワーク環境(Wi-Fi 等)の整備が困難だから
3. 教員の負担が増加するから
4. ICT に関してサポートができる人材の確保が困難だから
5. 提携・協力先の確保が困難だから
6. ICT を活用した教育活動の効果がよくわからないから
7. その他()

《全員対象》

Q13. ICTを活用した教育活動について、今後強化したいもの、実施したいものがありましたら御記入ください。(自由記載)

[]

県教育委員会御担当者は p.6 の【Ⅱ】へお進みください。

市町村教育委員会御担当者は p.10 の【Ⅲ】へお進みください。

【Ⅱ】貴教育委員会の所管する高等学校について(Q14. ～Q25.)

ICT を活用した教育活動(Q15.の選択肢の内容を参照)の実施状況についてお伺いします。

令和2年10月1日時点の状況を御回答ください。

《県教育委員会対象》

Q14. 貴教育委員会の所管する中で、ICT を活用した教育活動を実施している高等学校はありますか。

1 つだけ選んでください。

1. ある → Q15. へお進みください。
2. ない → Q22. へお進みください。

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q15. 貴教育委員会が所管する高等学校で実施している、ICT を活用した教育活動の内容を教えてください。(複数選択可)

1. 生徒が自宅から、ネットワークを介して配信された授業内容を視聴
2. 生徒の自宅と学校とを接続し、同時双方向による授業を実施
3. 教室内での電子黒板の使用
4. 教室内で生徒がタブレット端末等を使用
5. 他の学校や学校外の機関(博物館、美術館など)と学校とを接続した、同時双方向による授業を実施
6. その他()
7. わからない

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q16. Q15. で御回答された教育活動について、どのような授業や教科等で活用されているのか教えてください。(複数選択可)

1. 主に講義形式を中心とする授業・教科等(国語、社会等)
2. 主に実技を中心とする授業・教科等(体育、音楽等)
3. 英語における会話の授業
4. その他()
5. わからない

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q17. 貴教育委員会が所管する高等学校で ICT を活用した教育活動を実施した理由(きっかけ)を教えてください。(複数選択可)

1. 生徒が校外の多様な人と交流することができるから
2. 生徒の学習意欲の向上が期待できるから
3. 生徒それぞれの理解度・習熟度に合わせた学習ができるから
4. ICT 機器を使いこなすことは、世の中の必須スキルになっていくと思うから
5. 教員の指導力向上が期待できるから
6. 新型コロナウイルス感染症への対応のため
7. その他()

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q18. ICT を活用した教育活動を実施して得られた成果を教えてください。(複数選択可)

1. 生徒が多様な人と交流することができた
2. 生徒に学習意欲の向上が見られた
3. 生徒それぞれの理解度・習熟度に合わせた学習ができた
4. 教員の指導力が向上できた
5. 教員の業務が効率化できた
6. 新型コロナウイルス感染症への対応や対策ができた
7. その他()

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q19. ICT を活用した教育活動の実施に伴う課題や問題点を教えてください。(複数選択可)

1. 回線の通信速度が遅い
2. 音や映像が途切れる
3. ICT 機器のセッティングに時間がかかる
4. 授業の進行に遅れが生じた
5. 授業内容が ICT の活用に適した内容ではなかった
6. 普段よりも授業の準備に時間がかかるなど、教員の負担が増加した
7. その他()

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q20. 授業以外で ICT を活用した教育活動として実際に活動をされたことがあれば、簡単に御紹介ください。(自由記述)

()

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q21. どのような条件や環境が整えば、ICTを活用した教育活動を強化できると思いますか。次の選択肢から選んでください。(複数選択可)

1. ICT 機器(端末)の整備
2. ネットワーク環境(Wi-Fi 等)の整備
3. 教員向けのサポートプログラムの提供
4. ICT に関してサポートができる人材の確保
5. 提携・協力先リストの整備
6. ICT を活用した教育活動の効果が明らかになること
7. ICT を活用した教職員向けの研修の実施が可能となること
8. その他()

—————→ Q25. へお進みください。

《Q14. で「2. 」と回答した方対象》

Q22. 今後、ICT を活用した教育活動を実施する予定はありますか。次の選択肢から 1 つだけ選んでください。

- | | | |
|----------|---|----------------|
| 1. 予定はある | → | Q23. へお進みください。 |
| 2. 予定はない | } | Q24. へお進みください。 |
| 3. わからない | | |

《Q22. で「1. 」と回答した方対象》

Q23. ICT を活用した教育活動の実施は、いつ頃を予定していますか。次の選択肢から 1 つだけ選んでください。

1. 令和 2 年度中
2. 令和 3 年度中
3. その他()

—————→ Q25. へお進みください。

《Q22. で「2. 」または「3. 」と回答した方対象》

Q24. 「Q22. 」の御回答の理由を教えてください。(複数選択可)

1. ICT 機器(端末)の整備が困難だから
2. ネットワーク環境(Wi-Fi 等)の整備が困難だから
3. 教員の負担が増加するから
4. ICT に関してサポートができる人材の確保が困難だから
5. 提携・協力先の確保が困難だから
6. ICT を活用した教育活動の効果がよくわからないから
7. その他()

Q25. へお進みください。

《全員対象》

Q25. ICT を活用した教育活動について、今後強化したいもの、実施したいものがありましたら御記入ください。(自由記載)

()

p.10 の【Ⅲ】へお進みください。

【Ⅲ】ICT 支援員について(Q26. ～Q35.)

令和 2 年 10 月 1 日時点の状況を御回答ください。

《市町村教育委員会・県教育委員会対象》

Q26. 貴教育委員会では、ICT 支援員を配置していますか。次の選択肢から 1 つだけ選んでください。

1. 配置している →Q27. へお進みください。
2. 配置していない →Q33. へお進みください。

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q27. ICT 支援員は、何名を配置していますか。(貴教育委員会で配置している ICT 支援員の実人数を記入)

ICT 支援員の人数:()名

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q28. 「Q27. 」で御回答いただいた ICT 支援員を、どのように配置していますか。(延べ人数を記入)

小学校:()名

中学校:()名

高等学校:()名

その他:() ()名

※同じ支援員が複数の学校を担当している場合は、それぞれの学校数でカウントしてください。

(例:一人の支援員が小学校 2 校、中学校 1 校を担当している場合、小学校:2 名、中学校:1 名と記載)

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q29. ICT 支援員 1 人当たりの児童・生徒・教員それぞれの担当人数について御回答ください。

(人数を記入)

児童・生徒:()名

教員 : ()名

※同じ支援員が複数の学校を担当している場合は、合計人数を記載してください。

(例:一人の支援員が小学校 A の児童 50 名と教員 10 名、中学校 B の生徒 60 名と教員 10 名を支援している場合、児童・生徒 110 名、教員:20 名と記載)

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q30. ICT 支援員 1 人当たりの勤務時間について御回答ください。(日数、時間数等を記入)

週に()日

1 回の勤務時間:()時間

その他()

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q31. ICT 支援員は、どのような役割を主に担っていますか。(複数選択可)

1. 授業における ICT 支援
2. 教員研修における ICT 支援
3. 校務における ICT 支援
4. その他()

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q32. ICT 支援員の配置に関して、困っていることや要望があれば教えてください。(複数選択可)

1. 人材の確保が困難である
2. 支援員の技能に差がある
3. 専任の支援員が配置されていない
4. 適切な人材を紹介・あっせんする仕組みがあるとよい
5. 支援員が各学校を遠隔で支援する仕組みがあるとよい
6. その他()

➡ アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

《Q26. で「2. 」と回答した方対象》

Q33. 今後、ICT 支援員を配置する予定はありますか。次の選択肢から 1 つだけ選んでください。

1. 予定はある → Q34. へお進みください。
2. 予定はない } Q35. へお進みください。
3. わからない }

《Q33. で「1. 」と回答した方対象》

Q34. ICT 支援員の配置は、いつ頃を予定していますか。次の選択肢から 1 つだけ選んでください。

1. 令和 2 年度中
2. 令和 3 年度中
3. その他()

➡ アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

《Q33. で「2. 」または「3. 」と回答した方対象》

Q35. 「Q33. 」の回答理由を教えてください。

1. 教員が ICT に関する十分な技能を有していて支援員を配置する必要がないから
2. ICT を活用した教育活動を行う予定がないから
3. 十分な数の支援員を確保することが困難だから
4. 人材を探すことが困難だから
5. 支援員を配置するための費用の確保が困難だから
6. その他()

—————▶ アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

ICT を活用した高等学校の設立意向に関する調査

ICT を活用した高等学校※の設立に関して、**貴市町村長の御意見を踏まえ**、自治体としてのお考えを御回答いただきますようお願いいたします。

※ ICT を活用した高等学校とは、テレビ会議システムなどの ICT(情報通信技術)を活用し、島内の学校に通学しながら遠隔地の高等学校の授業を受けることができる、学校を指す。(同級生と画面を通じてつながっている。)

Q1. ICT を活用した高等学校(分校含む)の設立が具体化した場合、貴市町村が当該高等学校(分校含む)の設置者になる等の意向について、御回答ください。(1つ選択)

1. 貴市町村単独で設置者になる意向がある
2. 他の自治体と一部事務組合等を設立し、高等学校の設置者になる意向がある
3. 自らが設置者になる意向はないが、学校法人等が設置する高等学校を積極的に誘致したい
4. 上記のような意向はない
5. その他()

Q2. 上記の御回答の理由を御回答ください。(複数選択可)

1. 進学を希望する生徒がいる又は多いと考えるため
2. 進学を希望する生徒がいらない又は少ないと考えるため
3. 自治体の負担が生じるため
4. 保護者の負担が軽減されそうのため
5. 対象者が少ないため
6. 教職員等の人材の確保が困難なため
7. 地域振興につながるため
8. その他(具体的に:)

Q3. 上記以外に、学校における ICT を活用した教育に関して、御意見や御要望、期待すること等がありましたら御回答ください。(自由記述)

連絡先を御記載ください。

自治体名		所属	
氏名		役職	
電話番号		メール アドレス	

御協力ありがとうございました。

(2) ICT を活用した教育活動に関するアンケート集計表

- ICT を活用した教育活動に関する調査
- ICT を活用した高等学校の設立意向に関する調査

【ICTを活用した教育活動に関する調査】

Q1. 所管する学校数

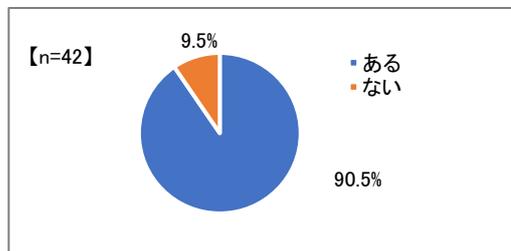
小学校	259
中学校	144
高等学校	60

《市町村教育委員会・県教育委員会対象》

Q2. ICTを活用した教育活動を実施している学校の有無

(SA)

	回答数	%
1 ある	38	90.5
2 ない	4	9.5
合計	42	100.0

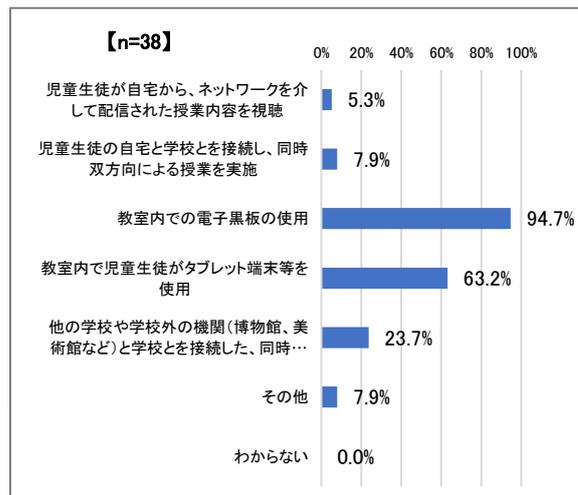


《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q3. 小中学校で実施しているICTを活用した教育活動の内容

(MA)

	回答数	%
1 児童生徒が自宅から、ネットワークを介して配信された授業内容を視聴	2	5.3%
2 児童生徒の自宅と学校とを接続し、同時双方向による授業を実施	3	7.9%
3 教室内の電子黒板の使用	36	94.7%
4 教室内で児童生徒がタブレット端末等を使用	24	63.2%
5 他の学校や学校外の機関(博物館、美術館など)と学校とを接続した、同時双方向による授業を実施	9	23.7%
6 その他	3	7.9%
7 わからない	0	0.0%
合計	38	100.0%



【その他内訳】

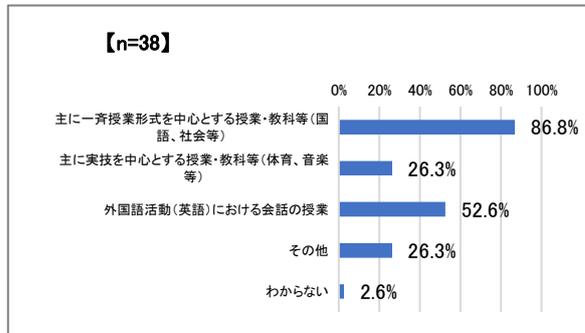
- ・海外や他県、他地区の児童生徒と交流
- ・授業支援ソフトを活用
- ・指導者用デジタル教科書の活用

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q4. どのような授業や教科等で活用されているか

(MA)

	回答数	%
1 主に一斉授業形式を中心とする授業・教科等(国語、社会等)	33	86.8%
2 主に実技を中心とする授業・教科等(体育、音楽等)	10	26.3%
3 外国語活動(英語)における会話の授業	20	52.6%
4 その他	10	26.3%
5 わからない	1	2.6%
合計	38	100.0%



【その他内訳】

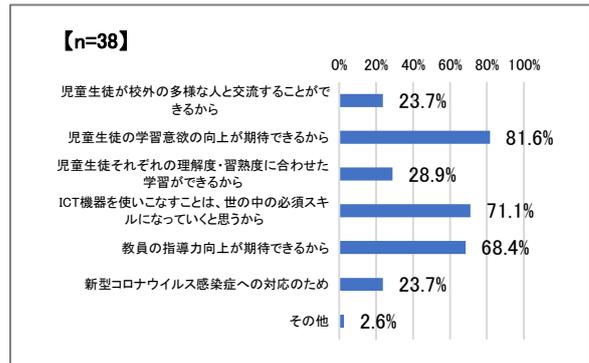
- ・家庭科(裁縫)実技、理科
- ・総合等
- ・修学旅行の現地調べ
- ・海外や他県、他地区の児童生徒と交流
- ・村内学校間でのネットワーク交流
- ・国際交流
- ・プログラミング教育、フラッシュ暗算、教育ソフトの活用
- ・小・中学校ともに主要5教科について指導者用デジタル教科書を活用
- ・朝の会、LHR、保健体育、外部学習教材の活用

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q5. ICTを活用した教育活動を実施した理由(きっかけ)

MA

	回答数	%
1 児童生徒が校外の多様な人と交流することができるから	9	23.7%
2 児童生徒の学習意欲の向上が期待できるから	31	81.6%
3 児童生徒それぞれの理解度・習熟度に合わせた学習ができるから	11	28.9%
4 ICT機器を使いこなすことは、世の中の必須スキルになっていくと思うから	27	71.1%
5 教員の指導力向上が期待できるから	26	68.4%
6 新型コロナウイルス感染症への対応のため	9	23.7%
7 その他	1	2.6%
合計	38	100.0%

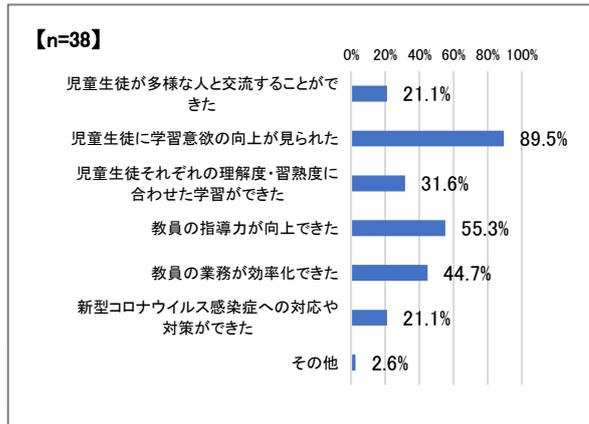


《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q6. ICTを活用した教育活動を実施して得られた成果

(MA)

	回答数	%
1 児童生徒が多様な人と交流することができた	8	21.1%
2 児童生徒に学習意欲の向上が見られた	34	89.5%
3 児童生徒それぞれの理解度・習熟度に合わせた学習ができた	12	31.6%
4 教員の指導力が向上できた	21	55.3%
5 教員の業務が効率化できた	17	44.7%
6 新型コロナウイルス感染症への対応や対策ができた	8	21.1%
7 その他	1	2.6%
合計	38	100.0%



【その他内訳】

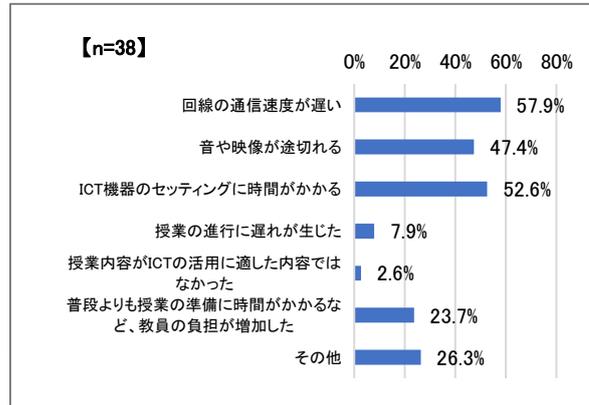
・自分の考えを表現し、それに対する考えを得られやる気が高まった

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q7. ICTを活用した教育活動の実施に伴う課題や問題点

(MA)

	回答数	%
1 回線の通信速度が遅い	22	57.9%
2 音や映像が途切れる	18	47.4%
3 ICT機器のセッティングに時間がかかる	20	52.6%
4 授業の進行に遅れが生じた	3	7.9%
5 授業内容がICTの活用に適した内容ではなかった	1	2.6%
6 普段よりも授業の準備に時間がかかるなど、教員の負担が増加した	9	23.7%
7 その他	10	26.3%
合計	38	100.0%



【その他内訳】

・外部委託のICT指導員を配置し操作支援のための経費負担が課題となる

・使用方法が不十分

・精密機械のため、故障等が見られる

・教員の指導力に大きな差がある

・不具合対応等

・教師の力量により活用の差がある

・教職員のICTスキルの差

・各校ごとにNW環境に差がある

・ICT機器の維持に費用がかかる

・ICTを活用した活動には、学校ICT支援員の継続的な配置が必要である

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q8. 授業以外でICTを活用した教育活動として実際に活動したこと

【自由回答】

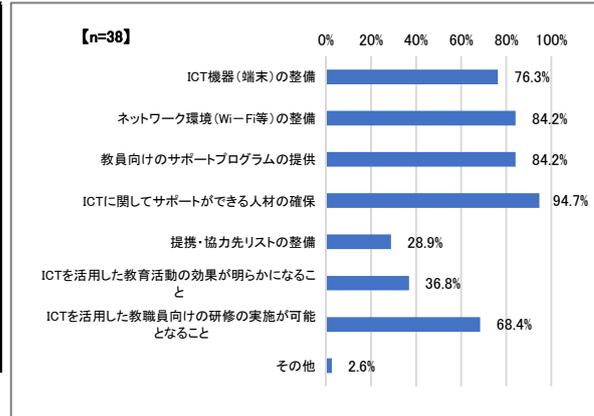
<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動(係活動)として、朝の時間、給食準備時間、給食時間、放課後、朝の会・帰りの会等で活用 ・児童生徒と共に、学校生活のあらゆる活動を画像・動画で記録し、よりよい生活づくりに向けた振り返りの場で活用
<ul style="list-style-type: none"> ・英語及び総合の授業において、海外の中学生等とのオンライン交流を複数回開催し、異文化交流を図った
<ul style="list-style-type: none"> ・研修等
<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や総合などの報告会
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による休校時に、児童生徒の自宅と学校を接続して朝の会(健康観察等)を実施。 ・在宅勤務職員と接続した職員会議の実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・【他県、他地区との交流】給食時間や休憩時間、部活動の時間での交流 ・【海外との交流】交流先(台湾)の学校とつないで、ホームステイ事前及び事後の交流
<ul style="list-style-type: none"> ・村外の学校とネットワークで交流
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や帰りの会にて、健康チェックや振り返りでICTを活用。 ・朝会などの集会活動でオンライン集会を実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・時間割や連絡事項等の表示、児童生徒玄関や廊下等での子供たちの活躍の様子の投影等
<ul style="list-style-type: none"> ・集会や講話などを教室の電子黒板で表示する
<ul style="list-style-type: none"> ・人型ロボットのプログラムを委員会活動において作成し、取組の周知活性化を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の生徒会役員選挙で候補者の演説を各教室の電子黒板でリモート放送を行った
<ul style="list-style-type: none"> ・県外の児童生徒とのオンライン交流
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ休業時は、朝の会を行う際にZOOM等を利用して行った
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会総会を各クラスへ配信 ・各クラスへの運動会の配信など ・3密を避けるため、配信にて講義等の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・島外(他県等)にある学校との交流事業 ・理科の実験に関する出前授業をリモートにて実施

《Q2. で「1. 」と回答した方対象》

Q9. ICTを活用した教育活動を強化するための条件や環境

(MA)

	回答数	%
1 ICT機器(端末)の整備	29	76.3%
2 ネットワーク環境(Wi-Fi等)の整備	32	84.2%
3 教員向けのサポートプログラムの提供	32	84.2%
4 ICTに関してサポートができる人材の確保	36	94.7%
5 提携・協力先リストの整備	11	28.9%
6 ICTを活用した教育活動の効果が明らかになること	14	36.8%
7 ICTを活用した教職員向けの研修の実施が可能となること	26	68.4%
8 その他	1	2.6%
合計	38	100.0%



【その他内訳】

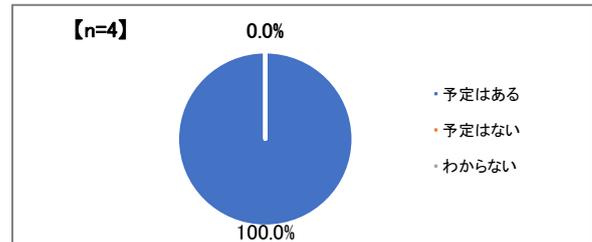
<ul style="list-style-type: none"> ・上記1「ICT機器(端末)の整備」及び2「ネットワーク環境(Wi-Fi等)の整備」に関連してネット回線使用料の予算確保が重要である
--

《Q2. で「2. 」と回答した方対象》

Q10. 今後、ICTを活用した教育活動を実施する予定はありますか。次の選択肢から1つだけ選んでください。

(SA)

	回答数	%
1 予定はある	4	100.0%
2 予定はない	0	0.0%
3 わからない	0	0.0%
合計	4	100.0%

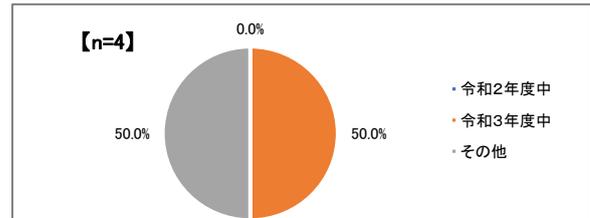


《Q10. で「1. 」と回答した方対象》

Q11. ICTを活用した教育活動の実施は、いつ頃を予定していますか。次の選択肢から1つだけ選んでください。

(SA)

	回答数	%
1 令和2年度中	0	0.0%
2 令和3年度中	2	50.0%
3 その他	2	50.0%
合計	4	100.0%



【その他内訳】

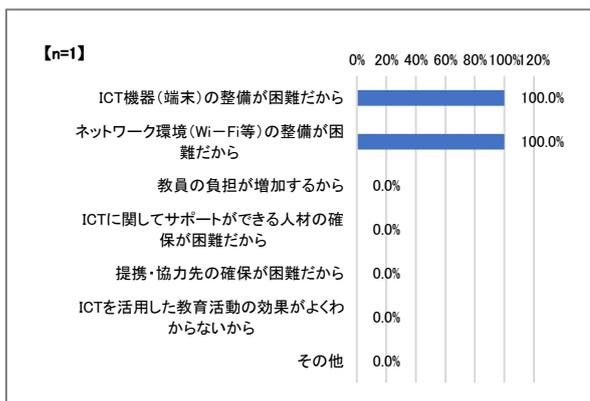
- ・令和5年ころ:教諭の準備ができてから。
- ・今はスキルがバラバラで厳しい。
- ・GIGAスクールの事業申込中で準備出来次第のため、令和3年度の予定
- ・令和2年度から仮実施し、3年度から本格的に実施予定

《Q10. で「2. 」または「3. 」と回答した方対象》

Q12. 「Q10. 」の御回答の理由を教えてください。

(MA)

	回答数	%
1 ICT機器(端末)の整備が困難だから	1	100.0%
2 ネットワーク環境(Wi-Fi等)の整備が困難だから	1	100.0%
3 教員の負担が増加するから	0	0.0%
4 ICTに関してサポートができる人材の確保が困難だから	0	0.0%
5 提携・協力先の確保が困難だから	0	0.0%
6 ICTを活用した教育活動の効果がよくわからないから	0	0.0%
7 その他	0	0.0%
合計	1	100.0%



《全員対象》

Q13. ICTを活用した教育活動について、今後強化したいもの、実施したいものがありましたら御記入ください。

(自由回答)

- ・端末を活用した、授業改善
- ・離島ICT教育における実証実験を踏まえて、オンラインでの授業や講演等を開催していきたい
- ・離島におけるICTを活用した高校教育の在り方について、離島自治体間で連携してその実現に向けて取り組んでいきたい
- ・1人1台のPC配布。家庭に持ち帰り家庭学習で利用し、授業と連動させる。他校と交流。プログラミング等
- 個別学習(個々の理解度や習熟度、興味関心に合わせた学習活動)
- GIGAスクール構想で「ネットワーク環境の整備」、「端末の整備」を行う予定なので、現在、特に実施したいものはない
- ・ICTを活用した学校間の交流授業
- ・教職員のICTを活用した指導力の向上
- ・ICTの物だけではなくしっかり研修制度をサポートしてほしい
- ・苦手だから利用しないものに時間もお金も避けないのでスキルの統一をしてほしい
- ・ネットワーク環境の整備、ICTに関してサポートできる人材確保
- ・教師の使用頻度を高める
- ・ICT機器、操作等に関する総合的な組織体制及び人材(予算)の確保
- ・1人1台端末を日常的かつ効果的に活用した個別最適な学びを追求したい
- ・1人1アカウントを整備し、シングルサインオンなどのよりシンプルな連携を構築する
- ・端末、ネット環境の実施、ICT支援員の確保、計画的な教職員向けの研修
- ・学習者用端末1人1台整備後のソフトやアプリの充実、有効活用を図るための人材確保、職員、研修の充実
- ・教員への研修、授業支援ソフト(ロイロノートスクール・Google Suite 等)の活用
- ・AIDリル等を活用した個別最適化された教育
- ・教員の意識向上。授業をサポートできる人材の派遣。
- ・ICTを活用した教職員向けの研修計画を実施。
- ・教職員の負担軽減
- ・教員のスキルアップ
- ・現状、ネットワーク環境が不安定な状況のため今年度でネットワークの整備を実施し、1人1端末での授業が不自由なく実施できるよう環境整備に取り組む

(前ページの続き)

- ・へき地校における複式学級解消の可能性を探りたい
 - ・美術等の専門教科教諭が配置されない教科で、複数校同時授業実施の可能性を探りたい
 - ・離島県の離島という本市において、児童生徒が島外(近隣離島、日本各地、海外)との交流を含めた学習を通して、学ぶ意欲の向上・広い視野を持ってもらえるような取組
- ・コミュニケーションツールを活用するため、生徒全員分のアカウントを取得した学校もあり、中学校3年間を見通したICTの教育活動を展開していきたい

《県教育委員会対象》

Q14. 貴教育委員会の所管する中で、ICTを活用した教育活動を実施している高等学校はありますか

(SA) 【n=1】

	回答数	%
1 ある	1	100.0%
2 ない	0	0.0%
合計	1	100.0%

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q15. 貴教育委員会が所管する高等学校で実施している、ICTを活用した教育活動の内容を教えてください。

(MA) 【n=1】

	回答数	%
1 生徒が自宅から、ネットワークを介して配信された授業内容を視聴	1	100.0%
2 生徒の自宅と学校とを接続し、同時双方向による授業を実施	0	0.0%
3 教室内での電子黒板の使用	1	100.0%
4 教室内で生徒がタブレット端末等を使用	1	100.0%
5 他の学校や学校外の機関(博物館、美術館など)と学校とを接続した、同時双方向による授業を実施	0	0.0%
6 その他	0	0.0%
7 わからない	0	0.0%
合計	1	100.0%

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q16. Q15. で御回答された教育活動について、どのような授業や教科等で活用されているのか教えてください。

(MA) 【n=1】

	回答数	%
1 主に一斉授業形式を中心とする授業・教科等(国語、社会等)	1	100.0%
2 主に実技を中心とする授業・教科等(体育、音楽等)	1	100.0%
3 英における会話の授業	1	100.0%
4 その他	1	100.0%
5 わからない	0	0.0%
合計	1	100.0%

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q17. 貴教育委員会が所管する高等学校でICTを活用した教育活動を実施した理由(きっかけ)を教えてください。

(MA) 【n=1】

	回答数	%
1 生徒が校外の多様な人と交流することができるから	0	0.0%
2 生徒の学習意欲の向上が期待できるから	1	100.0%
3 生徒それぞれの理解度・習熟度に合わせた学習ができるから	1	100.0%
4 ICT機器を使いこなすことは、世の中の必須スキルになっていくと思うから	0	0.0%
5 教員の指導力向上が期待できるから	1	100.0%
6 新型コロナウイルス感染症への対応のため	1	100.0%
7 その他	0	0.0%
合計	1	100.0%

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q18. ICTを活用した教育活動を実施して得られた成果を教えてください。

(MA) 【n=1】

	回答数	%
1 生徒が多様な人と交流することができた	0	0.0%
2 生徒に学習意欲の向上が見られた	1	100.0%
3 生徒それぞれの理解度・習熟度に合わせた学習ができた	1	100.0%
4 教員の指導力が向上できた	1	100.0%
5 教員の業務が効率化できた	1	100.0%
6 新型コロナウイルス感染症への対応や対策ができた	1	100.0%
7 その他	0	0.0%
合計	1	100.0%

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q19. ICTを活用した教育活動の実施に伴う課題や問題点を教えてください。

MA

	回答数	%
1 回線の通信速度が遅い	1	100.0%
2 音や映像が途切れる	1	100.0%
3 ICT機器のセッティングに時間がかかる	1	100.0%
4 授業の進行に遅れが生じた	0	0.0%
5 授業内容がICTの活用に適した内容ではなかった	0	0.0%
6 普段よりも授業の準備に時間がかかるなど、教員の負担が増加した	1	100.0%
7 その他	0	0.0%
合計	1	100.0%

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q20. 授業以外でICTを活用した教育活動として実際に活動をされたことがあれば、簡単に御紹介ください。

(自由回答)【n=1】

回答なし

《Q14. で「1. 」と回答した方対象》

Q21. どのような条件や環境が整えば、ICTを活用した教育活動を強化できると思いますか。次の選択肢から選んでください。から選んでください。

(MA)【n=1】

	回答数	%
1 ICT機器(端末)の整備	1	100.0%
2 ネットワーク環境(Wi-Fi等)の整備	1	100.0%
3 教員向けのサポートプログラムの提供	1	100.0%
4 ICTに関してサポートができる人材の確保	1	100.0%
5 提携・協力先リストの整備	1	100.0%
6 ICTを活用した教育活動の効果が明らかになること	1	100.0%
7 ICTを活用した教職員向けの研修の実施が可能となること	1	100.0%
8 その他	0	0.0%
合計	1	100.0%

《Q14. で「2. 」と回答した方対象》

Q22. 今後、ICTを活用した教育活動を実施する予定はありますか。次の選択肢から1つだけ選んでください。

(SA)【n=0】

	回答数	%
1 予定はある	0	0.0%
2 予定はない	0	0.0%
3 わからない	0	0.0%
合計	0	0.0%

《Q22. で「1. 」と回答した方対象》

Q23. ICTを活用した教育活動の実施は、いつ頃を予定していますか。次の選択肢から1つだけ選んでください。

(SA)【n=0】

	回答数	%
1 令和2年度中	0	0.0%
2 令和3年度中	0	0.0%
3 その他	0	0.0%
合計	0	0.0%

《Q22. で「2. 」または「3. 」と回答した方対象》

Q24. 「Q10. 」の御回答の理由を教えてください。

(MA)【n=0】

	回答数	%
1 ICT機器(端末)の整備が困難だから	0	0.0%
2 ネットワーク環境(Wi-Fi等)の整備が困難だから	0	0.0%
3 教員の負担が増加するから	0	0.0%
4 ICTに関してサポートができる人材の確保が困難だから	0	0.0%
5 提携・協力先の確保が困難だから	0	0.0%
6 ICTを活用した教育活動の効果がよくわからないから	0	0.0%
7 その他	0	0.0%
合計	0	0.0%

《県教育委員会対象》

Q25. ICTを活用した教育活動について、今後強化したいもの、実施したいものがありましたら御記入ください。

自由回答

・ICT機器等を活用した職員研修の充実・改善

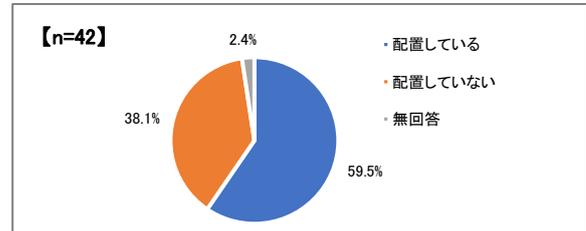
【Ⅲ】ICT支援員について

《市町村教育委員会・県教育委員会対象》

Q26. 貴教育委員会では、ICT支援員を配置していますか。

(SA)

	回答数	%
1 配置している	25	59.5%
2 配置していない	16	38.1%
無回答	1	2.4%
合計	42	100.0%



《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q27. ICT支援員は、何名を配置していますか。(貴教育委員会に配置しているICT支援員の実人数を記入)

(人数)

	全体合計	市町村平均
ICT支援員の人数	55	1.7

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q28. 「Q27. 」で御回答いただいたICT支援員を、どのように配置していますか。

(延べ人数)

	合計	カバーする学校数(平均)
小学校	183	6.3
中学校	101	3.4
高等学校	60	60
その他	0	-

Q29. ICT支援員1人当たりの児童・生徒・教員それぞれの担当人数について御回答ください。

(人数)

	平均
児童・生徒	3069.5
教員	208.5

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

Q30. ICT支援員1人当たりの勤務時間について御回答ください。(日数、時間数等を記入)

(数量)

	平均
週の日数	4.6
1日の勤務時間	6.8

《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

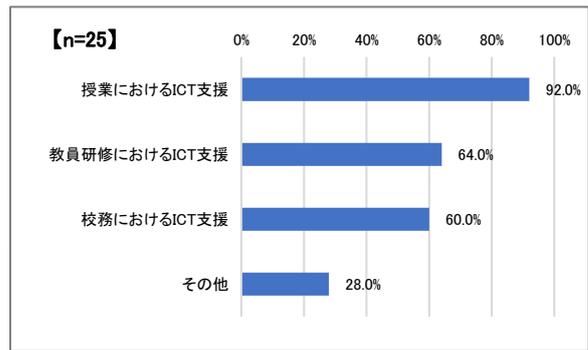
Q31. ICT支援員は、どのような役割を主に担っていますか。

(MA)

	回答数	%
1 授業におけるICT支援	23	92.0%
2 教員研修におけるICT支援	16	64.0%
3 校務におけるICT支援	15	60.0%
4 その他	7	28.0%
合計	25	100.0%

【その他内訳】

・各種不具合への初期対応
・児童のコンピュータ学習指導(PCに関する基本操作からネット検索等)の実施
・整備や保守管理について
・児童生徒のPC使用、入力等の補助
・ICT機器の障害対応
・環境整備
・ICT活用促進に関する情報収集や調査研究等



《Q26. で「1. 」と回答した方対象》

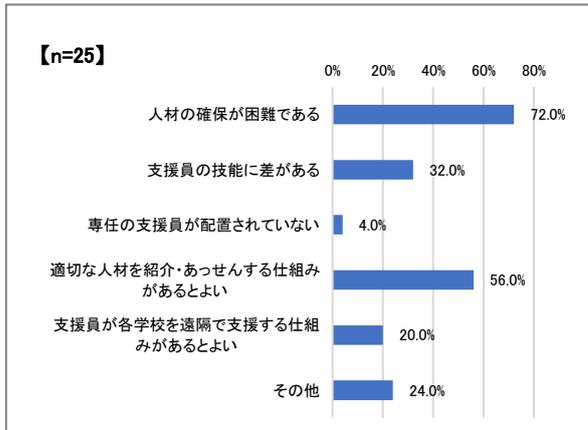
Q32. ICT支援員の配置に関して、困っていることや要望があれば教えてください。

(MA)

	回答数	%
1 人材の確保が困難である	18	72.0%
2 支援員の技能に差がある	8	32.0%
3 専任の支援員が配置されていない	1	4.0%
4 適切な人材を紹介・あつせんする仕組みがあるとよい	14	56.0%
5 支援員が各学校を遠隔で支援する仕組みがあるとよい	5	20.0%
6 その他	6	24.0%
合計	25	100.0%

【その他内訳】

・国の統一的な補助等がなく、予算措置を図りづらい
・国の費用補填拡充
・支援員配置に関する補助事業が欲しい
・遠隔で支援する仕組みは今後必要になってくるとは思うが、ICT教育が浸透していくまでは学校現地で直接支援していただける支援員の方が良い
・予算措置
・学校においてICT活用の推進には増員が必要だが、予算確保が困難な状況

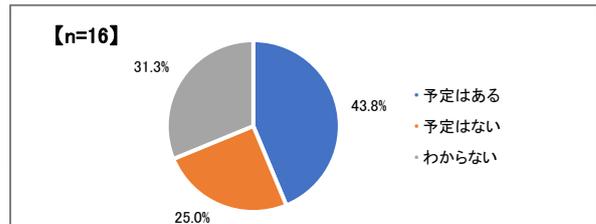


《Q26. で「2. 」と回答した方対象》

Q33. 今後、ICT支援員を配置する予定はありますか。

(SA)

	回答数	%
1 予定はある	7	43.8%
2 予定はない	4	25.0%
3 わからない	5	31.3%
合計	16	100.0%

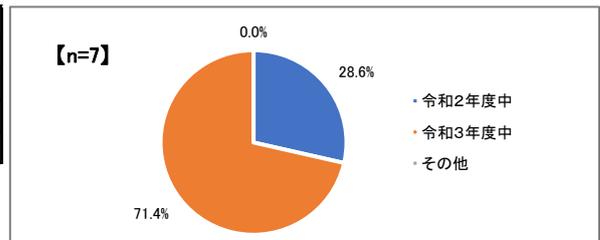


《Q33. で「1. 」と回答した方対象》

Q34. ICT支援員の配置は、いつ頃を予定していますか。

(SA)

	回答数	%
1 令和2年度中	2	28.6%
2 令和3年度中	5	71.4%
3 その他	0	0.0%
合計	7	100.0%

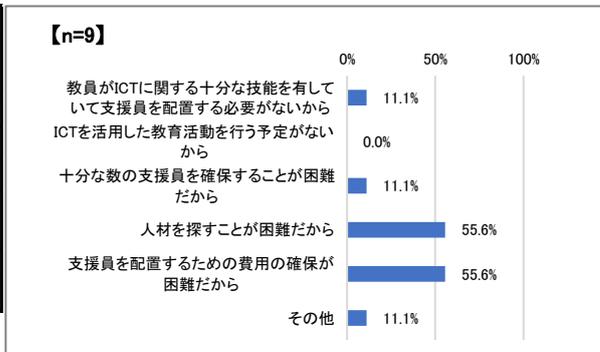


《Q33. で「2. 」または「3. 」と回答した方対象》

Q35. 「Q33. 」の回答理由を教えてください。

(MA)

	回答数	%
1 教員がICTに関する十分な技能を有していて支援員を配置する必要がないから	1	11.1%
2 ICTを活用した教育活動を行う予定がないから	0	0.0%
3 十分な数の支援員を確保することが困難だから	1	11.1%
4 人材を探すことが困難だから	5	55.6%
5 支援員を配置するための費用の確保が困難だから	5	55.6%
6 その他	1	11.1%
合計	9	100.0%



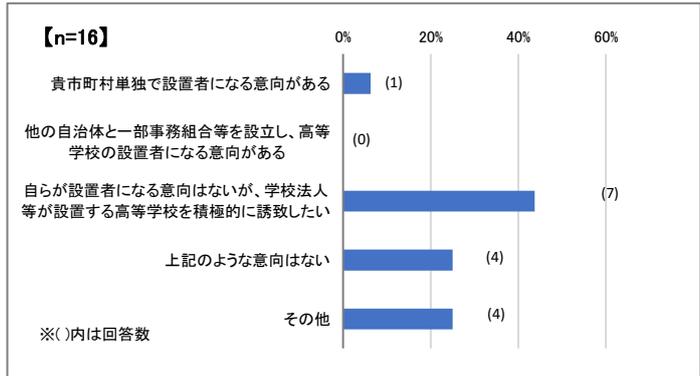
【その他内訳】

- ・GIGAスクール事業の準備段階なので配置の予定も未定のため
- ・ICT支援員を入れたいと思っはいるが、予算や人員の確保が困難である

【ICTを活用した高等学校の設立意向に関する調査】

Q1. ICTを活用した高等学校(分校含む)の設立が具体化した場合、当該高等学校(分校含む)の設置意向 (SA)

	回答数	%
1 貴市町村単独で設置者になる意向がある	1	6.3%
2 他の自治体と一部事務組合等を設立し、高等学校の設置者になる意向がある	0	0.0%
3 自らが設置者になる意向はないが、学校法人等が設置する高等学校を積極的に誘致したい	7	43.8%
4 上記のような意向はない	4	25.0%
5 その他	4	25.0%
合計	16	100.0%

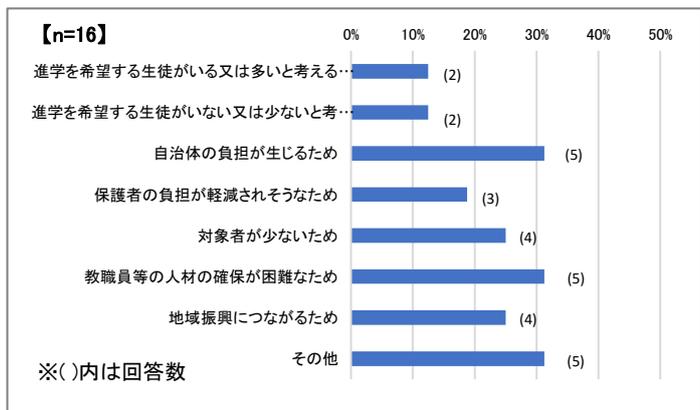


【その他内訳】

- ・すでにN高等学校本校がある
- ・現在、ICT利活用検討委員会が設立され、ICTを利用した通信制高等学校の誘致など幅広い活用方法について検討協議中である
- ・保護者・子供達のニーズを調査する必要があると思う

Q2. 「Q1.」の回答理由 (MA)

	回答数	%
1 進学を希望する生徒がいる又は多いと考えるため	2	12.5%
2 進学を希望する生徒がいない又は少ないと考えるため	2	12.5%
3 自治体の負担が生じるため	5	31.3%
4 保護者の負担が軽減されそうのため	3	18.8%
5 対象者が少ないため	4	25.0%
6 教職員等の人材の確保が困難なため	5	31.3%
7 地域振興につながるため	4	25.0%
8 その他	5	31.3%
合計	16	100.0%



【その他内訳】

- ・島内での進学希望者がほとんどいない
- ・ICTを活用した高等学校の設置の意向は現在も今後もない
- ・設置に伴う負担が理解できていない
- ・15歳で本島に渡るのが当然なので、島内に高校を設置する意思はない
- ・保護者・子供達のニーズ調査の回答をふまえて検討する必要があると考える

Q3. 学校におけるICTを活用した教育に関する意見や要望、期待 (自由回答)

- ・ICT技術の発展により、離島における新たな高等教育の可能性に期待をする
- ・高校のない離島の子供や家庭の苦労や経済的負担を解消する手段として、将来的に大いに可能性があると考えており、本事業の実証事業の先に実現されることを期待する
- ・本島にて中途退学、不登校になった際島内でICTを活用した高等学校に通学して高等学校卒業の資格を習得させることができればよいと考える
- ・そもそも高校生は島外に出てしまうことが当然という状況があり、島内に高校を作ろうとしても生徒になりうる対象者がいない。ICTを活用した教育を実施することで、対象者のいない高校を新たに作るよりも、既に対象者となりうる中学生がいるので、そちらの方に注力したい。ICT活用で人材育成を育むことはすばらしいと思うが高校生を対象と考えると、高校生が島内にいるのは夏休み期間中しかないので、夏休みという限定の中で人集めが本当に可能なのか疑問
- ・ICTを活用した高校設置にどのようなインフラや人材が必要かがわからない
- ・コロナ禍においても、児童・生徒の学びの質が損なわれないよう、ICTを積極的に活用した教育を推進して頂きたい
- ・島を出て社会勉強を経験させたい、したいという気持ちを持っている親子がほとんどで、島に高等学校を設置しても居残って学ぶ生徒は少ないと思われる
- ・群星寮(離島出身者用寮)の開設により教育費の軽減にもつながっており、現状の教育環境に不満を持つ者は少ないと思われる
- ・日本の教育・社会活動におけるICTの遅れを早急に取り戻したい(国際水準との比較において)
- ・将来島を離れても島に還元することができる可能性、また、島に居住しながらリモートワークできる職業の可能性など、ICT活用で島に還元できることを体験できる教育の充実

(参考2) 参考資料

- (1) 高等学校設置に係る制度上の主な要件

- (2) 令和2年度 ICT機器を活用した離島教育環境改善事業
 - 琉大附属中学校とのネット交流事業計画（英語科）
 - ものづくり交流会 学習指導案
 - 琉大附属中学校とのネット交流事業計画【音楽科】
 - 授業に参加した生徒に対する質問紙調査の結果